

平成17年度教育研究業績書

氏名 白石 太郎

最終学歴	1968年3月同志社大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
取得学位	文学修士
所属学会	日本考古学協会、日本考古学会（評議員）、古代学協会（評議員）、情報考古学会（理事）、史学会、アジア史学会、千葉歴史学会 ほか
現在の専門分野	日本考古学会（古墳時代～飛鳥・奈良時代）
研究課題	①考古学による日本古代国家形成史 ②古墳の埋葬原理と親族関係 ③中世墓地の社会史

【研究上の特記事項】

大阪府の古市・百舌鳥両古墳群の都市化以前の大縮尺地形図を1946年米軍撮影の航空写真から作成して学界共有の研究資料とするとともに、両古墳群の総合的な研究を進めるため科学研究費補助金（基礎研究（A））を受け、学内外の研究者と共同研究を開始した。研究期間は2005～2007年度の予定である。

【教育上の特記事項】

【社会的活動】

[外部委員等]

文部科学省独立行政法人評価委員会委員（文化分科会長、文化財研究所部会長）、文化審議会文化財部会専門委員（第1専門調査会）、九州国立博物館（仮称）設立準備専門家会議（主査、2005年10月まで）、文化庁国宝高松塚古墳恒久保存対策検討委員、宮内庁書陵部陵墓館委員会委員、放送大学客員教授、大阪府立近つ飛鳥博物館館長、（財）大阪府文化財センター理事、大阪府文化振興会議委員、千葉県史編纂専門員、犬山市史跡東之宮古墳調査委員会委員、（委員長）、宮崎市史跡生目古墳群整備委員会委員、金沢市野田山加賀藩主前田家墓所調査指導委員会委員、堺市歴史文化都市有識者会議委員、（財）三菱財団研究助成選考委員（人文科学）、（財）安藤忠雄文化財団評議員

[講演活動等]

「考古学からみた初期ヤマト王権」奈良国立博物館公開講座 2005年4月30日、「古墳の終末と古代国家の形成」朝日カルチャーセンター・立川5月14日、「高松塚古墳と平城京」NPO法人平城宮サポートネットワーク主催講演会5月15日 平城宮資料館、「佐紀盾列の古墳たち」平城東公民館奈良文化講座5月17日、「箸墓古墳は卑弥呼の墓か」奈良大学教養講座5月22日 桜井市まほろばセンター、「古墳の終末と古代国家の成立」帝塚山大学考古学研究所市民大学講座6月11日、「牧野車塚古墳の調査の語るもの」（財）枚方市文化財研究調査会歴史講演会7月23日 枚方市輝きプラザ、「終末期古墳とキトラ古墳」発掘された日本列島展講演会7月30日 東京都江戸東京博物館、「考古資料からみた邪馬台国」奈良大学文化講座8月6日 奈良市学園前ホール、「古墳からみたヤマト王権」静岡新聞・静岡放送SBS学苑8月20日、「博物館の歴史展示をめぐって」博物館実習現地見学特別講義8月23日 大阪南港関西汽船さんふらわ船上、「オオヤマト古墳群をめぐって」田原本町弥生の里文化講座（奈良大学文化講座）8月28日 弥生の里ホール、「古墳の終末」徳島県埋蔵文化財専門職員研修会講演8月30日（財）徳島県埋蔵文化財センター、「箸墓古墳の被葬者を探る」朝日カルチャーセンター・神戸9月3日、「備後の終末期古墳をめぐって」備陽史探訪の会設立25周年記念特別講演会9月24日 広島県立歴史博物館、「古墳の壁画をまもれ」NHK国際放送ラジオジャパンフォーカス9月22日放送、「6世紀前半の倭国における今城塚古墳」高槻市教育委員会主催シンポジウム”継体大王とその時代”9月25日 高槻現代劇場ホール、「考古学からみた葛城氏」静岡新聞・静岡放送SBS学苑10月8日、「ヤマト王権と河内」おおさかふみん文化ネット講座10月22日 柏原市立歴史資料「馬見古墳群とヤマト王権」奈良新聞社主催歴史街道フォーラム3月11日 奈良商工会議所大ホール、「桜井市段ノ塚古墳（現舒明陵）について」

【学内活動】（学内職歴を含む）

図書館委員

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
古代を考える 終末期古と墳と古代国家	編集	2005年4月	吉川弘文館	終末期古墳研究の概説所、「前方後円墳の終焉」1-22頁、「古墳の終末と古代国家」302-321頁など執筆
列島の古代史2・3・4・5	共編	05年10月～06年2月	岩波書店	文献史学と考古学の協業による日本古代史研究シリーズ、2「総説」1-8頁を執筆
日本の考古学 上・下	共編	2005年12月	学生社	ドイツで開催された日本考古展のために編集した日本考古学概説、「古墳時代概説」414-435頁など執筆
終末期古墳と初期寺院の造営を考える	共著	2006年3月	藤井寺市教育委員会	同名のシンポジウムの記録、「古墳の終末と古代寺院の造営」23-48頁ほか執筆
5				
(学術論文)				
古墳の埴輪が語るもの	単著	2005年10月	『王権と儀礼-埴輪群像の世界-』近つ飛鳥博物館展示図録	古墳における埴輪樹立の意味を考えたもの、7-16頁
須恵器の暦年代	単著	2006年1月	『年代のものさし-陶邑の須恵器-』近	須恵器の始まりなどの暦年代を論じたもの、66-73頁
考古学からみた応神以前の王統譜	単著	2006年1月	國文學 第51巻1号 學燈社	3～4世紀の倭国王墓と想定される巨大古墳のあり方から記紀応神以前の王統譜を検討したもの、101～109頁
”やまと”と東アジアを結ぶ道-大和川と原竹内街道の役割を中心に-	単著	2006年3月	大阪府立近つ飛鳥博物館館報10	ヤマト王権の基礎が大和川水系にほかならないことを交通路の問題から論じたもの、1-10頁
5				
(学会発表)				
3				
4				
5				
(その他)				
東日本における政治的世界の形成	単著	2005年4月	愛知県史のしおり資料編3（古墳3）	濃尾平野の勢力を中心とする東日本の政治勢力の統合が3世紀前半に遡ることを論じたもの、5～7頁
6世紀前半の倭国における今城塚古墳	単著	2005年9月	『継体大王とその時代』高槻市教育	6世紀の大型古墳の動向から筑後、尾張、武蔵、上毛野などの勢力が継体の擁立を助けたことを推定、10～15頁
対談「日本考古学の最前線」（小島美子氏と）	対談	2006年1月	『伝統文化』No.17、(財)伝統文化活性化国民協会	
『広辞苑』考古学関係追加項目執筆		2006年3月	岩波書店	
5				

[外部委員等]

文部科学省独立行政法人評価委員会委員(文化分科会長、文化財研究所部会長)、文化審議会文化財部会専門委員(第1専門調査会)、九州国立博物館(仮称)設立準備専門家会議(主査、2005年10月まで)、文化庁国宝高松塚古墳恒久保存対策検討委員、宮内庁書陵部陵墓館委員会委員、放送大学客員教授、大阪府立近つ飛鳥博物館館長、(財)大阪府文化財センター理事、大阪府文化振興会議委員、千葉県史編纂専門員、犬山市史跡東之宮古墳調査委員会委員、(委員長)、宮崎市史跡生目古墳群整備委員会委員、金沢市野田山加賀藩主前田家墓所調査指導委員会委員、堺市歴史文化都市有識者会議委員、(財)三菱財団研究助成選考委員(人文科学)、(財)安藤忠雄文化財団評議員

[講演活動等]

「考古学からみた初期ヤマト王権」奈良国立博物館公開講座 2005年4月30日、「古墳の終末と古代国家の形成」朝日カルチャーセンター・立川5月14日、「高松塚古墳と平城京」NPO法人平城宮サポートネットワーク主催講演会5月15日 平城宮資料館、「佐紀盾列の古墳たち」平城東公民館奈良文化講座5月17日、「箸墓古墳は卑弥呼の墓か」奈良大学教養講座5月22日 桜井市まほろばセンター、「古墳の終末と古代国家の成立」帝塚山大学考古学研究所市民大学講座6月11日、「牧野車塚古墳の調査の語るもの」(財)枚方市文化財研究調査会歴史講演会7月23日 枚方市輝きプラザ、「終末期古墳とキトラ古墳」発掘された日本列島展講演会7月30日 東京都江戸東京博物館、「考古資料からみた邪馬台国」奈良大学文化講座8月6日 奈良市学園前ホール、「古墳からみたヤマト王権」静岡新聞・静岡放送SBS学苑8月20日、「博物館の歴史展示をめぐって」博物館実習現地見学特別講義8月23日 大阪南港関西汽船さんふらわ船上、「オオヤマト古墳群をめぐって」田原本町弥生の里文化講座(奈良大学文化講座)8月28日 弥生の里ホール、「古墳の終末」徳島県埋蔵文化財専門職員研修会講演8月30日(財)徳島県埋蔵文化財センター、「箸墓古墳の被葬者を探る」朝日カルチャーセンター・神戸9月3日、「備後の終末期古墳をめぐって」備陽史探訪の会設立25周年記念特別講演会9月24日 広島県立歴史博物館、「古墳の壁画をまもれ」NHK国際放送ラジオジャパンフォーカス9月22日放送、「6世紀前半の倭国における今城塚古墳」高槻市教育委員会主催シンポジウム”継体大王とその時代”9月25日 高槻現代劇場ホール、「考古学からみた葛城氏」静岡新聞・静岡放送SBS学苑「馬見古墳群とヤマト王権」奈良新聞社主催歴史街道フォーラム3月11日

奈良商工会議所大ホール、「桜井市段ノ塚古墳(現舒明陵)について」

桜井市まほろばセンター講演会3月26日